

授 業 観 察 記 録

授業者		6 年 組
日 時	平成 年 月 日 (水)	1 校時
教 科	算 数	場 所 6年 組教室
単 元	単位量あたりの大きさ	
教育計画との整合性		○
人権上の配慮	一人一人の児童が大切にされている	
ねらい・課題の明示	導入部分に工夫がされている	
児童の実態の把握	実態に合わせた課題の設定がされている 簡単な数値の事例を提示	
学習形態の適正	個別の机配置	
板書の工夫	見易さ、まとめやすさがほしい	△
補助教材・機器の活用	簡易な図だが理解しやすい	
学習カードの工夫		
課題の量と質	適当な量が出されている	
研修の成果		
学習環境の整備		△
指導中の位置と視野		○
声の大きさ・言葉遣い		○
適切な服装・身嗜み		○
個別指導の内容と頻度	個々のかかわりが十分押えられているかは 見えない	
個々の評価・全体の評価	明確な確認は無かった	
学習のテンポ・リズム	児童の実態をふまえたテンポのある授業	○
次時への意欲付け		△
見学者・欠席者への配慮		
学習内容の理解	活動的に参加している児童は多い	
児童間の学び合い	今日の場面ではあまり見られない	
主体的な取り組み	多くの児童は思考を継続している	
学習への集中度	気温の割には継続している（教師との関係）	
児童の活動状態	積極的な児童が多く見られた	
学習の満足感		○
総合的な評価		○
指導及び考察	児童と教師の信頼関係ができているので、活発な授業が展開された。 自ら参加しない児童の扱いがどのようにできているか・・・	